



岬町議会議員 まつお ただし

松尾 匠 岬町 循環型

PROFILE

S50年、岬町生まれ。大学卒業後、メーカーで東京や大阪にて新製品の開発やデザイン設計等、商品のプロデュースやマーケティングに従事。H24年、IT・デザイン等を制作する株式会社オルタナティブを設立。H25年、町に多くの社会的課題に気づき、「自分たちの町は自分たちで創る」「町の課題をビジネスモデルにて解決する」目的の、NPO法人Re-Live(リライヴ)を設立。町内の休耕地を整備し、本物の無農薬有機野菜をパソコンやスマホ等のボタン操作で遠隔栽培できる「リモコン農園」や体験農園、体験型観光ツアー等を企画・実施。同時に障害者就労継続支援A型B型事業所「いにしき」、放課後等デイサービス「ちよいす」を設立し、障がい者が社会参加できる新たな仕組みを創出し、町の課題解決と活性化、仕事・雇用創出に取組中。H27年の選挙にて初当選。議員5年目を活動中。



みさき公園の「結論」と「これから」

12月議会～議会報告会～3月議会を終えて

令和2年4月1日より、岬町によるみさき公園の土地所有および管理が始まりました。今後目指すは、早急な次期事業者の公募・決定と、今ある価値を継承した「新たなみさき公園」を開園させること。

私が昨年開催した、みさき公園についての議会報告会や住民アンケートでは、多数の住民の皆様にご参加ご協力をいただき、その「声」を議会へしっかりと届けて参りました。

結果、手放して喜べるようなものとはならなかったものの、皆様の想いや願いなどの「声」のおかげで、土壇場で私たちが望む「みさき公園」へと望みを繋げることができました。

詳細は中ページに記載しています。改めて、これも皆様の「声」があったからこそ。

皆様一人一人の「声」を、私はこれからもしっかりと「聞き」、行政へ「伝えていく」ことを約束します。

最終的に町行政は、遊具等のある「今ある価値を継承した新たなみさき公園」を目指したい、と議会で答弁しました。しかし、町長は「自然公園」にしたい意向を議会で未だ示しており、町行政の中でもビジョンにズレが生じていることから、みさき公園の先行きは未だ不透明と言わざるを得ません。

ピーク時には、年間70万人もの集客で賑わった「みさき公園」。何もない「自然公園」でどれだけの「人」や「仕事」「お金」が集まるでしょうか?! 土地を町のものとする決断をした今、およそ5千万円と言われていた固定資産税はもう入って来ません。さらに人の交流や仕事・雇用もない公園では、管理費という「出費」だけを生む「負の遺産」となり、これでは今後の町財政はすぐに切迫します。
次世代を担う子どもたちへの「課題の先送り」は、絶対に許してはいけません!!

お願いです!! 皆様が望む「みさき公園」となるまで、引き続き関心をお持ちいただき、皆様の想いや願いなどの「声」をお聞かせください!! これからが本番です!!

私は、皆様の「声」をさらにお聞かせ頂くために、新たに「松尾匠NEWS」の配信をスタートします。Eメール等で「みさき公園の動向」などの「今の町政」を随時ニュース配信し、またそれに対する「集会・報告会」「アンケート」などの案内も配信する予定です。

「松尾匠NEWS」のご登録をいただき、皆様とつくる「活気ある町」「誇れる町」「ずっと暮らしたい町」を考え、カタチにしていきませんか?! 詳しくは本紙の裏面をご覧ください。

Eメール・ホームページでご意見等お待ちしております!

✉ mail@t-matsuo.net
☎ 072-494-0063

ホームページ
<http://t-matsuo.net>

FACEBOOK
<https://www.facebook.com/repair7.net>

INSTAGRAM
https://www.instagram.com/_tadashi_matsuo_



最期のイルカショー。終了後も名残り惜しむ声でいっぱい。守りたかったイルカショー。無念ですが町は取り壊しへと…

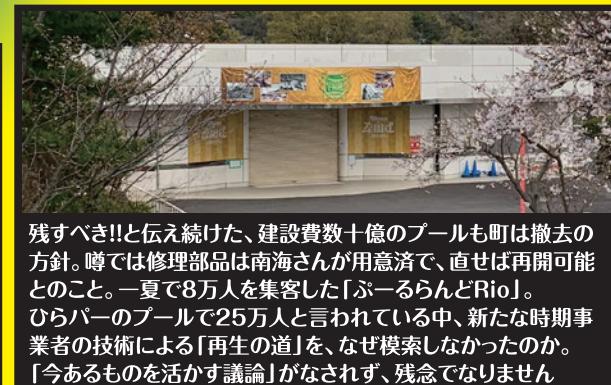
3/31日

南海「みさき公園」の最終日に行ってきました



私のとったアンケートでも「動物園を残して!!」の声が多数。議会で伝え続けるも…

閉園時間を過ぎても動物や飼育員さんとの「別れ」を最期まで惜しんでいました



残すべき!!と伝え続けた、建設費数十億のプールも町は撤去の方針。噂では修理部品は南海さんが用意済で、直せば再開可能とのこと。一夏で8万人を集客した「ぶーるらんどRio」。ひらパーのプールで25万人と言われている中、新たな時期事業者の技術による「再生の道」を、なぜ模索しなかったのか。「今あるものを活かす議論」がなされず、残念でなりません



「議会報告会」と「アンケート」結果

経緯

みさき公園事業の撤退を表明した南海電鉄が、みさき公園を引き継ぎ活性させる計画を持った

後継事業者を探し当てました。しかし、南海電鉄が所有するみさき公園の土地を譲り受けたい

岬町は、南海電鉄を介して後継事業者へ厳しい条件（土地は岬町のものとし、年間8千万円の公園事業の使用料を徴収、またみさき公園駐車場は、岬町が使用するため使用禁止、来園駐車場は別の場所に設定すること、等）を主張しました。後継事業者はこの条件を受け入れられず、折り合いがつかない状態に。

南海電鉄は、折り合いをつけるために3者（岬町・南海電鉄・後継事業者）での協議を岬町に求めるも、岬町は責任を逃れるために交渉のテーブルにはつかず、話し合いを断りました。

その結果、後継事業者とは決裂し、みさき公園の後継事業者を確保することができませんでした。

この経緯を、議会案件とせず「事後報告」に済ませたことも加えて、岬町内では最大に影響力のある案件にも関わらず、全て町長と数名の幹部職員での決断と民意不在の対応に、私は疑問を持ち、この経緯を皆様に知って頂くべく、昨年11月に私の広報紙「change! MISAKI 5」で報告、議会報告会とアンケートも実施しました。

報告会の開催

11/30(土):淡輪海浜会館

12/10(火):深日会館

12/12(木):文化センター

「みさき公園問題」をテーマに、本当に多くの住民の皆様にお越しをいただきました。奥野議長、道工副議長、坂原監査委員、中原議員、小川議員にも参加いただき、まずは町行政から議会で伝えられたことを報告、その後、参加された住民の皆様よりご質問やご要望、みさき公園への「想い」などをたくさんお聞かせいただきました!! ご参加いただきました皆様に感謝!! 本当にありがとうございました!!

次のアンケート結果と共に、皆様一人ひとりの「想い」を、私は12月と3月議会でしっかりと町へ伝えました。



深日会館(上)と、文化センター(下)での報告会

アンケートの実施とその結果

期間: 11/18~12/20日 回答数: 392件

約1ヶ月という短い期間、そしてインターネットでの投稿にも関わらず、約400件の方に返信を頂きました! ご回答頂きました皆様、本当にありがとうございました!!

以下、アンケートの内容をまとめました。**大多数の民意・望みは、「今ある価値をそのまま引き継ぎ、さらにより良いサービスをえた新しいみさき公園」**です。町行政はそこを置き去りに進めることは絶対にダメです! 私は今後も皆様の「想い」「願い」等の「声」を聞き、その「民意」の上で「持続可能な循環型のビジョン」を描き、まちづくりを進めるよう提言・活動していきます!



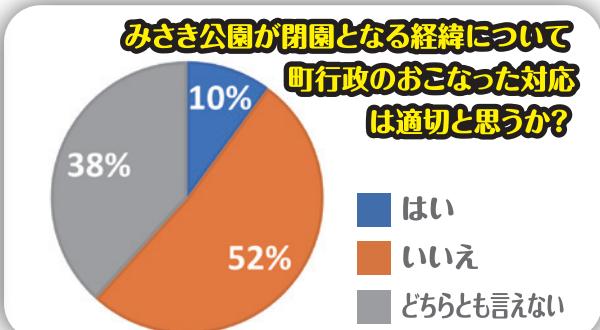
みさき公園を、
•存続してほしい?
•閉園で良い?

■ 存続
■ 闭园



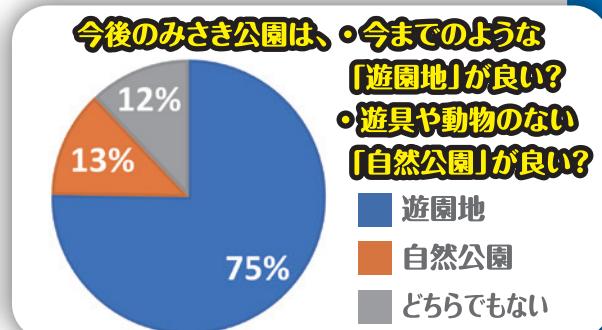
みさき公園が閉園に至るまでの南海電鉄と町行政のやりとりを知っていたか?

■ はい
■ いいえ



みさき公園が閉園となる経緯について
町行政のおこなった対応は適切と思うか?

■ はい
■ いいえ
■ どちらとも言えない



今後のみさき公園は、
•今までのような「遊園地」が良い?
•遊具や動物のない「自然公園」が良い?

■ 遊園地
■ 自然公園
■ どちらでもない

● 存続希望の意見

どんな「みさき公園」になれば良いと思うか? (自由回答)

※意見を集約

- 施設併設により新規事業の追加による集客力増加を目指す
- 全天候型遊園地
- 大人も楽しめる滞在型・体験型施設の併設
- グランピング、アスレチック、バギー、ジップライン、サイクリング、フェス会場
- フリマやワークショップなど低コストでできるイベントを定期的にできないか?
- バーベキュースペース、ドローン飛行練習場
- 動物園は残してほしい
- 今まで通りのみさき公園であってほしい
- 遊園地を残してほしい
- ムーミン谷のような、岬町の雰囲気に合うイメージ作品とのコラボ
- 「みさき」の自然を活かした貴重な遊園地だから現状の運営をしていてほしい
- 現代の流行に合わせて、絶叫マシンなどを複数設置
- 総合リゾート化
- 全世代・訪日旅行者が楽しめる要素を追加する
- 農業体験のできる施設を併設(ミカンやイチゴ狩りなど)
- 子どもに特化した公園をさらに進化させてはどうか?
- 動力を使う遊具を廃止し、子どもが安全に体を使って遊べる遊具を置いてほしい
- 遊具エリアを縮小して、自然公園、ミニ遊園地、動物園の施設構成で入場料も動物園は+αに変更しては?

● 闭園でよい意見

- イオンモール
- 大きな芝生が広がり平坦で広い舗道のされた自然公園(いざという時の避難場所)
- グランピングやオートキャンプ場
- 健康公園

● 存続希望の意見

みさき公園の閉園について、自由にご意見を! (自由回答)

※意見を集約

- 資本提供を募り、新規参入事業者に歩み寄りを
- 次期事業主の企業努力により、よりよい公園・遊園地を作り出してもらう仕組みを町で考える
- みさき公園が閉園したら南海の急行・特急が停車せず、さらに岬町が廃れゆく可能性は否定できない。関電も撤退した中、多奈川線の存続も危うい
- 思い出の場所を残してほしい
- 里海公園があるのに自然公園では重複してしまう
- 遊園地でなくなれば広大な駐車場も必要なくなる
- 規模を縮小しても経営できる状態にコンパクト化しては?
- 町外だが年に数回2時間半かけて訪れている。そんな公園を残してほしい
- 動物たちの命と居場所を最優先に考えてほしい
- 動物園を残してカフェや自然公園を併設しては?
- アニメとのコラボがきっかけで通うようになった。コラボ元への支払いもあるから難しいと思うが継続的にできる施策、対策があれば…
- 遠方からでもみさき公園を目的に旅行で赴く人も居る。絶対残してほしい
- みさき公園の動物や働くスタッフの生活が維持できるように考えてほしい
- 希少種の動物もいるため、動物園は存続してほしい
- 何とかしたい方を集めて、岬町、企業、公園関係者、南海電鉄で再度検討して欲しい
- 0歳の赤ちゃんでも連れて行ける安心できる遊園地。だからこそ継続して、子どもや親に優しい施設(授乳室やおむつ換えのスペース)を増やしてほしい
- 岬町に訪れてもらう中心的施設として、みさき公園は存続してほしい
- みさき公園という名前をなくさないでほしい
- 閉園は簡単。続けることは難しくても、やめてしまったそこで終わり
- 入場料を値上げした方が良いかと。公共の公園でなく、有料の公園なので
- しっかりメンテナンスをして、夏はプール、冬はスケートリンクにしては?
- 今のみさき公園も自然の中に遊園地、動物園があり、芝生広場でお弁当を食べたり、のびのびと楽しめる
- ギャンブル施設は、いや!

● 闭園でよい意見

- 集客できないなら、続けられなくて当然
- 閉園が致し方ないなら、動物たちの行き先を1匹残らず伝えてほしい
- 閉園はさみしいが、もっと活性化する事業を考えるべき
- 時代の流れだから致し方ない。自然公園併設の新庁舎などはどうか?
- 存続してほしいが、入園者減少・伸び悩みであれば仕方ない

松尾が描く! これからのみさき公園

幼い子どもからその祖父母まで、3世代が安全に楽しめる遊園地やプール、自然豊かな地形を活かしたほんわかする動物園、全国的に見ても高レベルなイルカショーなど、全国でも珍しい、総合レジャーランドの「みさき公園」。63年間で築いてきたものは、「世代と世代をつむぐ場所」。それがみさき公園の「価値」であり「ブランド」です。

アンケート結果で出されたご意見も反映させ、「価値」を引き続き継承する意思と、「新たなみさき公園」として今まで以上に発展させる想像力とノウハウを持つ民間事業者を、ただ「待つ」のではなく、トップセールスで探し回り、最終的に公正公平なルールにて最適な企業を公募・選定し、公園運営を託すべきなのです。

そのためには、今ある遊具や動物、プール、イルカスタジアムをそのまま残し「居抜き」で次期事業者に引き継げる形をとることです。

こうすることで今までの「価値」を引き継ぎ、次期事業者としても「新しいみさき公園」づくりの初期投資も大幅に抑えられるため、より多くの優良企業に手を挙げてもらいやすい条件となり、また新たに仕事や雇用も創出される可能性も高まり、何より私たちの望む「新たなみさき公園」となるはずです。

そして土地の町有化の事しか頭になく公園事業に関心がなかった町行政も、今後は公園事業を持続的に活性させるためのバックアップ・協力していくことが必要です。なぜなら、みさき公園が活性すること = 町が潤い発展することに直結するからです。

居抜き手法で見事復活・活性している実例 ▶▶



すべて生花で飾られたパレードカーも登場!
ハウステンボス。事業者が変わっても既存施設を活かしてリニューアル。また様々な事業コラボにより、今なお発展を続ける、テーマパーク再生のお手本。



恵那峡ワンダーランド。古い遊具・施設を時代に応じてリノベーションし、見事復活・活性している良い例。



若手俳優事務所とのコラボで女性の集客アップに成功している、サンリオピューロランド。

町行政のとった決断と対応

南海電鉄が探し当てた、みさき公園の後継事業者と岬町が交渉をせずに決裂した経緯を「事後報告」で聞いた昨年8月から、私は皆様の「民意」という根拠とその上で描く自身の考えをもって、毎回議会にてしっかりと町長や町行政に伝えてきました。

しかしその後も町行政は、住民やみさき公園利用者の「声」を聞かず、土地の町有化に固執し、みさき公園の全ての施設を撤去した「自然公園」を目指すと言いつながら、町行政の方向性は定まらないまま、南海電鉄との協議も一向に進まず、ズルズルと3月議会最終日まで問題を先延ばしに。

3月議会最終日でようやく町行政から、**「南海電鉄とのみさき公園事業撤退に伴う基本協定書」が上程**されました。

結果は右に示す通りですが、このような結果となる前に、町がしっかりと後継事業者と、みさき公園の継続を第一に協議をしていれば、休園することなく多くの人が望む「みさき公園の存続」ができたはずで、この結果から私は、町の決断は「大きな過ち」だったと考えます。「官」から「民」への時代の流れの中、町長は逆行するように「岬町立みさき公園」とする決断をした以上、少なくとも今後見込めなくなった多額のみさき公園の固定資産税+α以上に、人・モノ・お金を「循環」させ、今まで以上に活性と賑わいを生む「みさき公園」としなければならない「大きな責務」があります。

※私が行ってきた一般質問の動画はこちら!

松尾匡 一般質問

今ある価値を継承した新たなみさき公園を求める意見書(案)

1957年に開園したみさき公園は、岬町のシンボル的存在である。

のみさき公園を運営する、南海電気鉄道株式会社(以下「南海」という。)が3月末をもって事業撤退を表明し、現在撤退に向けた準備が着々と行われている。

3世代で楽しむことができ、小さな子どもが安全に遊べる環境の「みさき公園」をなくすことは、岬町のシンボル的存在の喪失を意味し、利用者の激減したみさき公園駅の行く末は、特急が通過するようになり、多奈川線の廃線まで危ぶまれ、岬町民の生活が不便になってしまう可能性は否めない。

西日本最古のジェットコースターや海の見える観覧車、幼い子どもが楽しめるレトロ情緒あふれる遊具の数々は、現在、親や祖父母となった年代にも思い出深く、世代と世代をつむぐ「価値」と言える。

それを継承し、活かしながら、新しい要素を取り込んで、新たなみさき公園を創造することが出来れば、岬町が廃れていく事を懸念することなく、むしろ今まで以上に岬町を発展させる重要な存在となりえる。

よって、みさき公園について、以下の事項を行うことを求めるものである。

記

- 現存する遊園地事業をはじめ、みさき公園全体の後継事業者については、マスコミ等もを利用して大々的かつ公平な形で公募すること
- 譲渡が決まっていない動物と遊具などを活用して、4月以降も継続して運営すること。少なくとも、多くの入園者が期待できる5月の連休まで開園すること
- 後継事業者が確定するまでの間は、遊具や施設の解体・撤去を留保するよう南海に求め、次期事業者に継承の是非の判断を委ね、町はそれに対し柔軟に対応すること

令和2年3月5日

提案者：松尾 匡

提出先：岬町

▲みさき公園を今の形で残して欲しいと利用者からの陳情書が議会に届いたことと、「みさき公園を1年間閉園した後、施設等を撤去し自然公園を目指す」と町長がNHKで発言したことを受け、みさき公園をより良い形で残すよう軌道修正すべく、私が3月議会2日目に上程した意見書(案)。

民意をまとめた意見書であることは、アンケート等の回答を見ても明らかであることを丁寧に説明するも、「**今のみさき公園の施設に価値はない**」「**議員が口出しすべきでない**」等として反対する議員たちと、その「想い」を共有することができず、残念ながらこの決議は否決されました。しかし、この意見書(案)の意図と皆様の「声」が町行政に届き、議会最終日には、みさき公園の「価値」を残していくよう改めて関係者と協議していく、と土壇場で町行政から「回答」を得ることができました。

賛成議員：松尾 匡、道工 晴久、中原 晶、坂原 正勝、小川 日出夫

反対議員：谷崎 整史、反保 多喜男、辻下 正純、竹原 伸晃、和田 勝弘
出口 実

※敬称略。議席番号順

「みさき公園事業撤退に伴う基本協定書」の要旨

- 岬町は南海電鉄からみさき公園の土地と施設を無償で譲り受けるが、譲渡にかかる境界確定や分筆登記等、様々な費用は岬町が負担
※つまり、固定資産税収入は消失、岬町の財政はさらに苦しくなることに…
- 譲渡条件として、今後も「都市公園」以外の用途は認めない。
そして第三者への譲渡・賃貸をしないことが条件
- 岬町の意向で、南海電鉄は公園内のほぼ全ての遊具等施設を、R3年3月末まで(困難な場合はR3年6月末まで)に撤去する
- 岬町の意向で、南海電鉄は公園内の全ての動物をR3年3月末までに退園させる。退園までにかかる飼育等費用は南海電鉄が負う
- 公園内は今年4月以降~上記施設の撤去や動物の退園が完了するまで休園とし、立入禁止

▲このままでは園内ほぼ全ての遊具・施設を町の判断で撤去されることが確定となってしまうので、私は動物やプールを含む、遊具等施設の「価値」を残した上で早急に次期事業者を公募・選定し、「価値」を継承させるための様々な提案を続けた結果、不完全ですが最終的に町から以下を引き出すことができました▼

- 園内で遊園地事業の委託を受けていた事業者が、南海電鉄所有の遊具・施設を引き継ぎ公園再開後に運営を希望すれば、南海電鉄と譲渡協議をした後、町と協議して条件が合えば公園内に遊具等を残す
- そして「**今のみさき公園**」の形を、**新たな要素も含んで継承して、新規事業者に運営を担ってもらえるように考えていく**
- 公園全体を運営・管理する**新規事業者の公募要件を、今年6月末までに定め、募集を開始したい**(方法は事業提案型となる見込み)

動画▶



動画▶



議事録▶



12月議会
一般質問

航路復活、本当にできるのか??

田代町長の掲げる町政策の1等1番地である「深日-洲本ライナー」航路復活事業。4年前に初めて国から交付金を受け、貴重な町税も出して始めた事業で、現在は「サイクルツーリズム事業交付金」を活用し、洲本市の負担金の協力も得て3カ年事業として社会実験を続け、今年度(R2年度)が最終年度となります。

3月議会で町から昨年度の事業結果と今年度の事業実施計画の説明を受けましたが、私は資料を分析した結果、**国や市町の税金を投入せずに船舶事業者の資金だけで運営できるようになるには、今の利用客数のほぼ4倍以上集めないと事業が成り立たないことがわかりました。**

3年実施したにも関わらず実験結果は芳しくなく、未解決課題が山積みです。**利用客のほとんどが他都市へ行く目的でこの航路を利用しており、岬町内で「お金を使われていない」岬町が「目的地にならない」のです。**これでは、岬町内の企業や店舗等は恩恵を受けることができず、結果町として投入した税金はこの事業で回収することは、ほぼ不可能です。それにも関わらず、町が出た今年度の事業計画は昨年度とほぼ変わらなかった。計画最後の年でもある今回、**よっぽど大きな「動き」や見直しをしない限り、船舶事業者の独立採算で航路を復活させることは、「無理」と言わざるを得ません。**

私は「深日港活性化特別委員会」で毎回、利用客を増やす提案や採算性を上げる様々な提案をし続けてきましたが、実施された提案も少なく、分析結果から私は非常に厳しい質疑をしました。「それでも災害時に航路は必要だから続けたい」と町長は言いますが、私は**『航路が活性している状態であればこそ災害時にも利用できる。利用客がなく事業を継続できないから航路が廃止になった過去の経緯を学ぶべきで、これだと同じ結果となる。そこへ税金を投入し続けることに住民が納得されるとは到底思えない。先に利用客を絶やさない仕組みづくりや、岬町が「目的地」となるよう「行ってみたい!」と思わせる魅力づくりに注力すべき。それには岬町民が主役となり「今ある資源やハードを活用した新たな岬町の観光産業」を創り出し、「岬町の魅力発信」が必要。先に目指すべきは「町の活性化」で、その後に「航路復活」が成り立つものだ**と伝えました。皆さんはどう思われますか??

R2年度の航路事業費

項目	金額(円)	内訳
収入	乗船料 ※1	乗船者数見込み 11,000人
	国 交付金	国の税金 今年度で終了
	洲本市 負担金	洲本市の税金
	岬町 負担金	岬町の税金
合計	46,485,000	事業資金合計
支出	船舶運航委託料	船舶の運航を委託する船舶業者へ支払う料金
	陸上業務委託料	発券所の運営を委託する団体へ支払う料金
	広報関連経費	ポスター、チラシ、広告掲載などに支払う料金
	その他 業務委託料	台船スロープの借上やイベントを委託する業者などに支払う料金
施設使用料 及び借上料	1,382,000	利用客用の駐車場用地などを借りるための費用
合計	46,485,000	事業経費合計

※1 乗船料：大人1500円、小人500円、幼児無料、スポーツサイクル300円
割引制度：(半額)障がい者、(2割引)学生、(1割引)往復・シニア・団体

▲昨年度、ふるさと納税を利用した本事業への寄附を全国へ募集した結果、目標値の7%に止まりました。この結果でわかることは、本事業に魅力がなく、メリットを感じられなかつたという事。そして返礼品は品数も乏しいため、寄附したくなるような独自の魅力ある返礼品開発も急務です。

また利用者を増やす取組として、アンケートでも要望のあった、電車やバスとのセット販売や、旅行会社と連携した周遊コースづくりなどに注力すべきで、課題が「山積み」です。

アンケートに ご協力ください!

「みさき公園問題」と「航路再生事業」について簡単なアンケートをご用意。

皆様の望む「町政」となるよう、「声」を聞かせてください。
その「声」を、私は今後も町行政や議会へ、しっかりと届けていきます! ご協力ををお願いいたします!

参加方法 ▶

アンケートURL

<http://t-matsuo.net/index.php/worksheet2/>

URLで開く



QRコード
で読み取る▶

●QRコードで読み取る方法

●URLで聞く方法

スマホの「QRコードリーダー」アプリを起動し、起動したカメラを下のQRコードに合わせます

スマホやPCでインターネットに接続し、URL入力欄または検索欄に、下のURLを入力して実行します

松尾 匠 岬町 循環型

▲ホームページにアンケートを掲載中!

参加方法は上記3つからお選びください

「松尾 匠 NEWS」配信開始!

ぜひご登録を!

私「松尾 匠」の視点で、町政の「本当のところ」や「知りたいことを」など、広報紙では書ききれない様々な情報を、Eメール等で“速やかに”お届けします。そしてそれに対するご意見など、皆様の「声」をお聞きするための「アンケート」や「集会・報告会」を今後も開催予定で、その開催情報もお知らせしていきます。

「松尾 匠 NEWS」へご登録いただき、「活気ある町」「誇れる町」「ずっと暮らしたい町」と一緒に考え、カタチにしていきませんか?!

「松尾 匠 NEWS」配信をご希望の方は、右の2つのいずれかからお申込みをお願いいたします!

Eメール
で申込

下のEメールアドレス宛に文字を入力せず「空メール」を送信ください。後ほど「登録フォーム」を案内します



mail@t-matsuo.net

ネットで
申込

スマホのQRコードリーダーで右のQRコードを読み取り、「登録フォーム」の必要項目を入力し、送信してください



お問合せは
こちら!

☎ 072-494-0063